

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月6日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機タービン建屋滞留水移送装置設置作業におけるモルタル流入について】 3号機海水トレンチについて建屋内滞留水の流入を防止するため、11月5日よりモルタルの充填作業を実施していたが、12月3日に充填箇所隣接している3号機タービン建屋地下1階にあるサービスエリアにモルタルが流入していることを確認。 当該エリアについては、滞留水を移送するためのポンプを新たに設置することを目的に10月1日より柔構造アームを用いて、既設ポンプの撤去作業を進められており、12月4日に作業の影響有無について調査を実施したところ、既設ポンプが収められているピット内にもモルタルが流れこんでいることを確認。 今後、詳細を調査する。</p>	GⅢ	12月3日